

霧島市国際交流協会

イベントレポートVol.33(令和2年度第2号)

農商工連携がんばろう市に出展します！

例年、11月のふるさと祭に霧島市国際交流協会のブースを出展していましたが、今年は11月7・8日、14・15日に牧園町で行われる「農商工連携がんばろう市」に出展します。

7日は第一工業大学留学生、14・15日の2日間は霧島市国際交流員によるワークショップを開催します。

14・15日は国際交流員のフェイスペイント、紙工作体験ができます。また期間中、青少年海外派遣事業の紹介、国際交流員・第一工業大学・鹿児島高等専門学校の留学生による自国紹介パネルを展示します。皆様のお越しをお待ちしています！！



昨年のふるさと祭りの様子



新企画準備中!!

マレーシア・マラッカ市
セントフランシス学院との

リモート交流

例年、マレーシア・マラッカ市にあるセントフランシス学院とは夏の中高生の派遣での学校訪問や、秋にセントフランシス学院の生徒受け入れ事業等による交流を行っていますが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止しました。そこでセントフランシス学院との交流を継続して実施し、霧島市の学生に国際交流の機会を提供することを目的に、12月に高校生同士のリモート交流を開催することとなりました。

リモート交流の様子は、次の会報で紹介する予定です。お楽しみに！！



百八十度 変わった人生

有村 貴行さん

平成30年度派遣生
派遣先：アメリカ
派遣当時：高校3年生

—— 青少年海外派遣に応募した動機は？またなぜアメリカに行こうと思ったのですか？

アメリカへの漠然とした憧れがありました。高校では医療介護の勉強をしていたのですが、3年生の進路相談で「アメリカに行ってみよう」という思いを先生に話したら、ちょうど青少年海外派遣を紹介してくれたのがきっかけです。

—— 海外派遣に行く前の準備や心構えはありましたか？

南日本カルチャーセンターでの勉強会を受けました。私はその中で一番上手なもので、すっかりしなればと思ったいました。

—— 派遣時は英語があまり話せなかったと伺いましたが不安はありませんでしたか？

英語に自信はなかったですが、テレビ番組で英語が話せない日本人が現地の人に話しかけているのを見て、ノリでなんとかやるのではという気持ちもありました。実際現地ではジェスチャークイズみたいな感じで、お互い伝えたい事が通じ合った時は面白かったです。でもやっぱり細かい感情とかは、うまく伝えられないので、語学力は必要だと感じしましたね。

—— アメリカでの派遣生活はどのようなものでしたか？

月曜から金曜まで学校でネイティブの先生の授業を受けます。座学だけでなく、アクティビティやボランティアにも参加します。アメリカへの派遣生はスマホ等通信機器の持ち込みは禁止で、外部と連絡を取ったり、スマホで翻訳機能を使用することもできません。土日は休みで終日ホストファミリーと過ごします。

—— ホストファミリーについて教えて下さい。

孫がいるくらい高齢の夫婦とその母親との生活でした。アメリカは高齢でも働く方が多いので、学校までの送り迎えはおばあちゃんがしてくれました。ホストファミリーが連れて行ってくれたキャンプが一番の思い出です。あとは信心深い家族だったので日曜日は教会に連れて行ってくれました。そういう時や、食事の前に皆で輪になり手をつないでお祈りする時、言葉の意味はよく分からなかったけど、家族の大切さをすごく感じました。ホストファミリーとは今でも連絡を取っています。

—— 海外派遣に行った後で、海外への印象や、自身の心境の変化はありましたか？

私はアメリカの文化がすごく合っていて、ホームシックになることもなかったし、食事もすごく楽しめました。ホームステイの最後の方は日本に帰りたいかと思ったり、行った後の心境の変化がありました。

—— 化は物事に対する視野が広がったと思います。

—— 現在の生活について教えて下さい。

高校で学んでいた医療介護の道を変えて、英語の専門学校へ進学しました。昨年十一月には学校のカリキュラムでフィリピンに一ヶ月留学しました。今年もアメリカに留学する予定だったので、新型コロナウイルスの影響で十日で帰国せざるを得なくなり、現在は休学中です。将来はまだ考え中ではあるのですが、英語を活かした仕事ができればと思っています。

—— 一言メッセージ

コロナ禍ですが、身近にできる国際交流もあります。私はSNSで知った日本在住の外国人と交流するイベントに参加して、英語や日本語でコミュニケーションを取ったりしました。私の好きな言葉に「やらない後悔よりやって後悔」という言葉があります。勇気を出して新しい経験をすることは、失う物はなにもなく、得るものしかありません。私もあの時、海外派遣に参加して人生が百八十度変わりました。やりたいことをどんどんさせてくれた両親にはとても感謝していますし、また協会から半額の助成を受けて参加できたことはとても恵まれていたと思います。今はコロナ禍で大変な時期ですが人生は一回きりです！どんな時も笑えるよう日々の小さな目標から大きな目標に向かって共に頑張っていきましょう。

↓日本での国際交流イベントに参加したときの様子



←今年3月にアメリカに留学した時のホストファザーが連れて行ってくれた、シアトルのスターバックス1号店！！



→フィリピンへ一ヶ月の語学留学の時

事務局より

有村さんへのインタビューいかがでしたか？過去の派遣生が学んだことを活かして元気に活躍している姿は嬉しいです！今年度の海外派遣は中止となり、コロナ禍で海外へ行く事は難しいですが、我々も身近にできる国際交流を続けていきたいです。

身近にできる

国際交流

今年はコロナ禍で様々な国際交流イベントが中止になるなか、身近に楽しんでいただける国際交流として、霧島市国際交流員の講座をご紹介します!!

英語でティータイム

英語でティータイムでは、毎月テーマに沿って、飲み物を飲みながらアメリカの文化等について話します。講座のほとんどは日本語で話され、時折英語で話す際も同じ内容を日本語でも話してくれるので、英語が苦手な方も安心して参加できます。参加者は幼児からお年を召した方まで、男女比もちょうど半々くらいでした。講師に対する質問は日本語・英語どちらでも大丈夫!日本とアメリカの文化の違いについて様々な意見が出ました。しばしばエマ先生が「え〜っと、これは日本語で何でしたっけ?」という質問にみんなで答えたり、終止和やかな雰囲気での講座でした!



↑まずは飲み物を選んで♪



↑今回のテーマは「ハロウィーン」!

韓国カルチャー体験 ハングルでしおり作り

最初にハングル文字の成り立ちをハナ先生が教えてくれました。その後は資料を見ながら、実際にハングル文字を書く練習。ハングル文字も日本の書道のように様々なカリグラフィーがあるようです。

最後は押し花・シール・リボン、用意された色々な素材を使ってしおり作り。自分の名前や好きな言葉など、それぞれ思い思いのしおりが出来上がりました!ハングル文字で書くだけで、なんだかオシャレに見えますね〜♡



↑お勉強の時間



↑何て書いてあるでしょう?

国際交流キッチン 韓国の秋夕の料理と伝統遊び

秋夕(チュンソク)は、韓国で旧暦の8月15日に祖先の墓参り等を行う、日本のお盆のような祭日です。ハナ先生から秋夕の説明を受けた後、皆で伝統料理「コチジョン」と「マッサルジョン」を作りました。簡単で見た目もかわいかったです!料理の後は、試食しながら伝統遊び「ユッノリ」「コンギノリ」に挑戦!「ユッノリ」は木の棒を使った日本のすごろくのような遊びで、「コンギノリ」はおはじきのような道具を使った遊びです。初めて見る道具にみんな興味津々でした!



↑かわいかったです!



↑コンギノリはちょっと難しい〜

英語で遊ぼう

9月から新しく始まった講座で、未就学児の親子を対象としています。広い部屋で、赤ちゃんから幼児までみんなのびのび楽しそうに走り回ったり、寝転んだりしていました!

初回は「エマ先生の自己紹介」「英語であいさつ」「アメリカはどこにあるのかな」「英語遊び歌」「英語絵本の読み聞かせ」「色探し」など休憩含め1時間盛りだくさんの内容でした。絵本は日本の子供達も大好きな「はらぺこあおむし」でしたが、英語で聞くのは初めてで新鮮でした。遊び歌「Head shoulders knees & Toes」は段々早くなるテンポに大盛り上がりでした!



↑遊び歌は大盛り上がり♪



↑絵本の時間

国際交流員(CIR)による講座は広報きりしま、霧島市ホームページ、当協会ホームページでもご案内しています。興味のある方はぜひご覧ください。

国際交流 ボランティア募集

霧島市国際交流協会では国際交流ボランティアを随時募集しています！国際交流に興味のある方、ボランティアに登録してみませんか？現在、下記の3分野にてボランティアを募集しております。直近のボランティアの活動例としては

- ・国際交流イベント時の通訳依頼
 - ・留学生や在留外国人を対象とした語学指導
- などがありました。

またボランティアの利用の受付もしております。お知り合いの外国人でボランティアの力を借りたい方がいましたら、国際交流ボランティア制度をぜひご活用ください。



- ・A.通訳(国際交流イベント・諸外国訪問団歓送迎会等)

- B.翻訳(手紙などの簡単な文書)

条件：日本語が堪能で、かつ日本語以外の言語で日常生活に必要な語学力以上の能力を有する方。

語学

ボランティア分野



- ・外国人を家庭に迎え、相互交流を行う。

条件：市内在住で家族全員の同意を得ていること

ホスト

ファミリー分野



- ・国際交流・国際協力事業などでのイベント運営支援・外国人支援活動、日本伝統文化の紹介・指導などを行う。

条件：伝統文化の紹介・指導の登録希望者は、指導者としての資格を所持ないし指導経験が豊富である方。

サポート

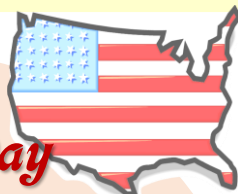
ボランティア分野



詳しいボランティア制度の内容や申込用紙は、協会事務局（国分シビックセンター行政棟2階市民活動推進課内）や協会ホームページにてご案内しております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

Seasonal event

Thanksgiving Day



アメリカでは毎年11月の第4木曜日はサンクスギビングデーと呼ばれ、家族や親戚、友人が集まって一緒に食事を楽しみ過ごす日で日本でいうお正月のようなものです。

イギリスからアメリカの大陸に渡った入植者がアメリカの先住民族であるインディアンから狩猟や農耕を学び、やっと初めて収穫を迎えた日、その収穫を喜び、神様に感謝したというのがサンクスギビングデーの始まりです。七面鳥を食べるのが一般的ですが、感謝祭の朝には、大統領が二羽の七面鳥を屠殺される運命から恩赦する行事が、ホワイトハウスで行われます。



お知らせ

9月に予定していた国際親善レガッタは中止とさせていただきます。参加申し込みをしてくださった方、関係者の方々申しわけございませんでした。

また霧島隼人浜下りは例年より規模を縮小することになったため、今年は協会としての参加を見送りました。初午祭も同様に規模縮小が決定しましたので、今年度は参加いたしません。

コロナ禍ではありますが、細心の注意を図り、少しでも国際交流イベントを開催できるよう頑張ってまいります！